



指揮

Nigel Short (英国) ナイジェル・ショート

英国の歌手、指揮者。英国王立音楽大学で声楽とピアノを学ぶ。

世界的な声楽アンサンブル「キングズ・シンガーズ」の元メンバー。その後、合唱団「テネブレ」(Tenebrae)を創設。ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団ほかを指揮。

ロンドン交響楽団とテネブレでレコーディングした『フォーレ：レクイエム』は2013年度グラモフォン賞にノミネートされた。

合唱

神奈川県立高校生による合同合唱団

県立音楽堂のクリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会は、2016年で51回目を数えました。2011(平成23)年から、この伝統を次の世代へ継承しようと、県内高校生が参加する「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」を開始。5年かけて少しずつ歌唱曲目を増やし、2015年にはついに全曲を歌う運びとなりました。また2016年の新春には、「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」全曲達成を記念して、高校生のための全曲演奏会も成功させました。

今回は、海老名高等学校、光陵高等学校、湘南高等学校、多摩高等学校、大和高等学校の合同合唱団で、これまで取り組んできた成果と、未来への希望をお聴きください。



オーケストラ

横浜シンフォニエッタ

1998年TOMATOフィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学学内にて創立。後に横浜シンフォニエッタへと改称、横浜に活動拠点を置くプロフェッショナルオーケストラとして国内外で活発な演奏活動を展開している。

2013年2月にはラ・フォル・ジュルネ発祥の地、仏ナントに日本の楽団として初めて招聘され、「フランスのオーケストラよりもフランスのサウンドがする」と絶賛された。CDリリースも多数、題名のない音楽会等のテレビ出演をはじめ、雑誌などメディアにも度々取り上げられるなど、世界の最先端に行くイノベーション・オーケストラとして注目を集める。2013年にはその功績を高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2014年2月のサントリーホール公演にて皇后陛下に御臨席を賜る。創立当初より音楽監督に山田和樹を擁する。